

研究・調査報告書

報告書番号	担当
80	滋賀医科大学福祉保健医学講座
題名（原題／訳）	
Risk factors for lower urinary tract symptoms in a population-based sample of African-American men. アフリカ系アメリカ人一般男性における下部尿路症候群（LUTS）の危険因子	
執筆者	
Joseph MA, Harlow SD, Wei JT, Sarma AV, Dunn RL, Taylor JM, James SA, Cooney KA, Doerr KM, Montie JE, Schottenfeld D.	
掲載誌（番号又は発行年月日）	
Am J Epidemiol, 2003; 157 (10): 906-14.	
キーワード	
下部尿路症候群、アフリカ系アメリカ人、多量飲酒、高血圧、糖尿病、高所得	
要旨	
目的：白人以外での下部尿路症候群（LUTS）の危険因子についての疫学研究はこれまで報告がない。そこでアフリカ系アメリカ人において、どのような社会的因子、生活習慣および病歴が、中等度～高度 LUTS（尿路通過障害を含む）発症の危険因子であり得るかを検討した。	
方法：1996 年から 1998 年の間にミシガン州 Flint において、40 歳から 79 歳までのアフリカ系アメリカ人の一般男性のうち、LUTS の症状がありアルファ遮断薬を内服している 708 名を調査した。	
結果：多量アルコール摂取、高血圧あるいは糖尿病の既往が LUTS と正の相関を示した。また、3 万ドル以上の高所得者と LUTS および通過障害・過敏症候との間には負の相関を認めた。心疾患の既往は LUTS および過敏症候と正の相関を示した。	
結論：幾つかの生活習慣および病歴が LUTS の危険因子であることが分かった。	